



ラジバンシー・マネージングダイレクター  
(フリート提供)

## フリート

### ほぼフル管理、日本の管理船4割

▶香港で1995年に発足したフリート・マネージメントはコングロマリットであるノーブル・グループの一員。テク

ニカル管理、船員配乗管理のほか、保険、売買船における船体検査、新造船監督などの海事関連サービスを展開している。K・S・ラジバンシー・マネージングダイレクターは「先進的な管理システムと人材への投資によって品質に一切妥協しない、安定的な成長を志向し

ている」と船舶管理業における姿勢を語る。

バルカー1隻の管理から始めて、

2001年に50隻、2004年に100隻、そしてこのほど200隻を突破した。現在は210隻以上をフル管理している。船員配乗管理のみを受託している船舶は数隻に限られており、管理船のほとんどがフル管理だ。管理船の構成はタンカー（油タンカー、ケミカル船、ガス船）が40%、バルカーが35%、コンテナ船と自動車船が20%などになる。テクニカル管理の拠点は香港、シンガポール、キプロス、英国・ロンドン、インド・ムンバイに置く。また、日本船主の管理船はバルカー、コンテナ船、タンカーが85隻以上で、フル管理船の約4割を占める。2008年の調査と比較して、フル管理船は約1割、日本船主の船は約2割増やしている。引き続き品質の高い船舶や船主をターゲットとして事業展開していく。

主な船員ソースはインド、中国、フィリピン。かつてはほとんどがインド人船員だったが、徐々に船員ソースを多様化してきたため、相対的にインド人船員の割合が低下した。今度もこれらの3カ国の船員を重点的に確保していく。船員配乗の拠点はこの3カ国のほか東欧に置いている。プール船員は約8000人。船種別の配乗体制は、バルカーなどドライ貨物の船はインド人全乗、インド人とフィリピン人の混乗、フィリピン人全乗、中国人全乗のいずれか。タンカーはインド人全乗かインド人とフィリピン人の混乗としている。船舶が投入されている航路、船齢、船主の要請を踏まえて決めている。

主な船員訓練センターはインド・ムンバイにある。また、自社グループが開発したウェブベースの訓練ツール

「TOLAS」(Training on Land and Sea) をプール船員の陸上・船上訓練に使用している。TOLASは自社で利用するだけではない。同社がキャデットを採用しているインドのトラニ商船大学や、コルカタにあるマリン・エンジニアリング関連の教育機関MERIに寄贈して、将来の船員養成に貢献している。

世界的に船舶職員不足が継続していることについて「船上の訓練キャパシティが非常に少ないことが、職員不足が継続している要因。訓練に高い費用がかかることが船主に研修生（キャデット）の受け入れを思いとどませている」と懸念するラジバンシー氏。フリートは船主の職員需要に引き続き応えていくため、200人以上のキャデットを育成している。



**Fleet Management Limited**

Read more about us on [www.fleetship.com](http://www.fleetship.com)

11/F Dah Sing Financial Centre, 108 Gloucester Road, Wanchai Hong Kong Tel: +852 2861-3511 Fax: +852 2528-1550